

「世界目標」SDGs とイスラーム
 ～インドネシアにおける「ジェンダー平等」の実態から～

政策科学科 3 年 榎田優菜
 吉田理湖

1. 研究目的

本研究では、SDG5 の「ジェンダー平等」、「女性のエンパワーメント」とイスラームの男女に関する価値観はどのように関係しあっているのか、イスラームと非イスラームは「ジェンダー」に関する価値観を共有することが可能なのかについて調査研究を行った。インドネシア人ムスリムの事例から、「世界目標」とされる SDGs と世界的な宗教共同体であるイスラームの関係性を明らかにし、イスラームの価値観に対する本質的な理解につなげていく。そして、これらを通じて今後の国際目標とイスラームという宗教共同体がいかにして共存することが可能なのかを探求する手がかりとしたい。

2. 活動内容

月	活動内容	活動内容の詳細・備考
2021 年 4-7 月	<ul style="list-style-type: none"> 研究議題決定 先行研究 文献調査 	<ul style="list-style-type: none"> 先行研究調査
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 文献調査 聞き取り調査 (オンライン) 	<ul style="list-style-type: none"> 8 月 25 日 Acep Rahmat 氏、Rahma Fidyati 氏への聞き取り調査
9 月	<ul style="list-style-type: none"> 文献調査 聞き取り調査 (オンライン) 中間報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月 22 日 Khotimatul Husna 氏への聞き取り調査 9 月 24 日 Rini Khariroh 氏への聞き取り調査
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告書の作成、提出 	<ul style="list-style-type: none"> 中間報告書の提出
11 月	<ul style="list-style-type: none"> 総括 リサーチフェスタの準備 	<ul style="list-style-type: none"> 調査の総括
12 月	<ul style="list-style-type: none"> リサーチフェスタの準備、参加 	<ul style="list-style-type: none"> 12 月 10 日 リサーチフェスタにて調査報告
2022 年 1-2 月	<ul style="list-style-type: none"> 最終報告書 	<ul style="list-style-type: none"> 最終報告書の作成、提出

◎本調査は、新型コロナウイルスの流行を考慮し、聞き取り調査はオンラインで行った。

◎上記に加え、加藤ゼミの学生に向けて調査報告やディスカッションを行った。

3. 結論

本研究から、イスラームのジェンダーにおける解釈や実践は個々のムスリムによって異なっているながらも、「女性を尊重する」という根底の意図は共通していたことがわかつ

た。そして、そのイスラームにおける「女性を尊重する」という価値観は世界目標の SDGs の目標 5「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」と相反していないのではないかと考えた。このようなことから、たとえ異なるようにみえても、相手の解釈や実践の根底にある価値観に迫れば、イスラームと非イスラームの間にも共通の価値観や意図を見出すことが可能だといえるのではないだろうか。イスラームの解釈や実践は一元的ではなく多様である。そして、国際社会やイスラーム内部の社会変化にも反応し、対応していく有機体的な側面も持っていた。イスラームを表面的かつ断片的に判断するのではなく、多様で有機的な側面にも目を向ける必要がある。